

< あなたの治療について >

泌尿器 - EV- 尿路上皮 - q3w（維持療法）

今回の治療は、EV という治療法で、パドセブ（EV）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1、8日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～7日目	8日目	9～21日目
①	デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み		お休み
②	パドセブ (抗がん剤) 1.25mg/kg	点滴 約30分				

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度 20%以上）

パドセブによる

●悪心、食欲減退、味覚不全 ●下痢 ●疲労 ●末梢性ニューロパチー ●そう痒症 ●脱毛症

◎特徴的な副作用について

パドセブにおける

●末梢性ニューロパチー

「手足のしびれ、痛み、力が入らない、筋萎縮、手足のふるえ」などの症状

●重度の皮膚障害

「中毒性表皮壊死融解症（TEN）」「皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ」などの症状

「皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）」「発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する」などの症状

●高血糖

「体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える」などの症状

●腎機能障害

「尿量が減る、むくみ、体がだるい」などの症状

●間質性肺炎

「咳、息切れ、息苦しい、発熱」などの症状

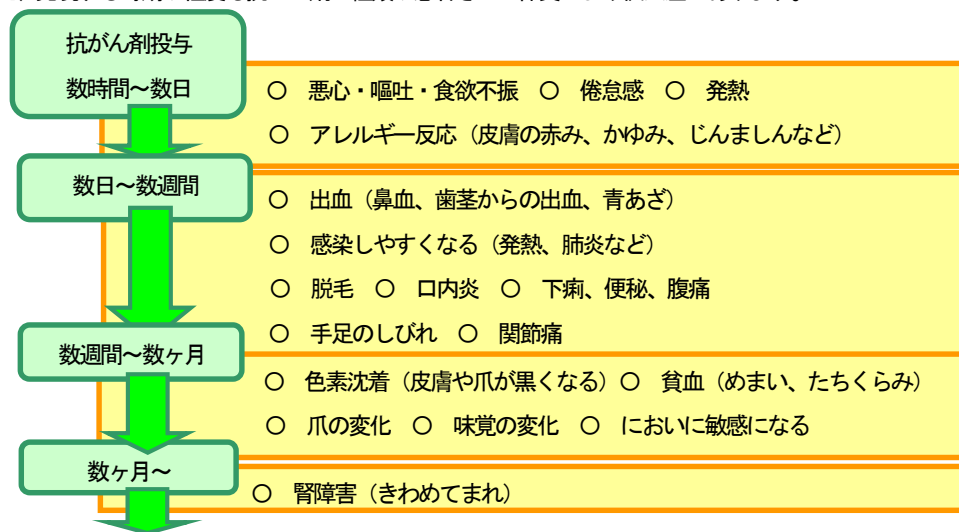
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【パドセブ】

〔重度の皮膚障害〕皮膚が広い範囲で赤くなり破れやすい水ぶくれが多発する、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

〔高血糖〕体重が減る、水を多く飲む、尿量が増える

〔末梢性ニューロパチー〕手足のしびれ、痛み、筋肉に力が入らない

〔骨髄抑制〕貧血、寒気、出血が止まりにくい

〔感染症〕発熱、咳や痰がでる、息苦しい

〔腎機能障害〕尿量が減る、むくみ、体がだるい

〔間質性肺疾患〕咳、息切れ、息苦しい

◎上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。